

## ○履歴書・教育研究業績書の記入上の留意点

### 1 履歴書

- ①「年齢」は採用予定日の満年齢を記入してください。
- ②「本籍地又は国籍」は、日本国籍の者は都道府県名を、外国籍の者は国名を記入してください。
- ③「学歴」は、大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴（学位及び称号を含む）のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入してください。
- ④博士課程において、所定の単位を取得し未だ博士号を取得していない場合の学歴は、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。
- ⑤大学の別科、専攻科については「学歴」欄に、研究生、聴講生等は「職歴」欄に記入してください。
- ⑥学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護婦、教員等の資格についても「学歴」欄に記入してください。この場合、登録番号も付記してください。
- ⑦外国における資格については正確に記入するとともに、その資格の内容について併記してください。
- ⑧外国留学については、学生としての留学の場合は「学歴」欄に、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入してください。
- ⑨「職歴」は、職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記してください。なお、過去における大学設置・学校法人審議会（旧大学設置審議会を含む。）の教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、専任・兼任・兼任、職名及び担当授業科目名（大学院にあっては、判定結果（◎・合・可））を記入してください。
- ⑩「職歴」は、各職歴について、在職期間が明確になるように記入してください。なお、現職については必ず「現在に至る」と明記してください。
- ⑪自営業、主婦、無職等についても省略しないで「職歴」欄に記入してください。（⑮においても同じ。）
- ⑫大学の教員の職歴については、主な担当科目を（ ）で付記してください。
- ⑬担当科目に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記入してください。
- ⑭「学会及び社会における活動等」は、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入してください。なお、所属学会名は正確に記載してください。
- ⑮「職務の状況」は、記入日現在における職務の状況について記入してください。なお、教員以外の者の場合の職務の状況については、勤務先、職名の欄のみ記入するとともに、現在の職務内容を「備考」欄に簡潔に記入してください。
- ⑯「職務の状況」欄の「毎週担当授業時間数」は、当該科目が前期のみ又は後期のみの開講の場合は前期又は後期の時間数を、集中講義の場合は総時間数を記入し、「備考」欄にその旨を記入してください。
- ⑰外国人の場合は、母国語で記入して差し支えないが、その場合は訳文を添付してください。

なお、各記載欄が不足する場合には、適宜記載欄を追加（挿入）して対応してください。

## 2 教育研究業績書

- ①この書類は、担当予定授業科目等に関連する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び主要な著書、学術論文等（発行又発表が予定されているものを含む。）について作成してください。
- ②「教育上の能力に関する事項」、「職務上の実績に関する事項」の「4 その他」欄には、1から3に該当するもの以外の事項について幅広く記入してください。
- ③「著書、学術論文等の名称」の欄には、著書、学術論文及びその他の順に、それぞれ年月順に、番号を付して記入してください。
- ④「概要」の欄には、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び著書、学術論文等の概要について、教育上の能力に関する事項の各欄、職務上の実績に関する事項及び各著書、学術論文等ごとに少なくとも200字で具体的に記入してください。  
なお、著書、学術論文等が共著の場合は、担当部分及び頁数を明記し、また、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記入してください。  
単著の場合は、総頁数を記入してください。
- ⑤共著の場合で本人の担当部分を抽出するのが困難な場合は、その理由を明記してください。（例 共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
- ⑥学位論文については、その旨明確になるよう記入してください。
- ⑦発表学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで明記してください。
- ⑧学会誌等において発表予定のものについては、その旨を明記し、証明書を添付してください。なお、投稿予定のものは含めないでください。
- ⑨口頭発表を含めて構いません。

なお、各記載欄が不足する場合には、適宜記載欄を追加（挿入）して対応してください。